

令和元年度協力病院連絡協議会（報告）

日時：令和元年7月12日（金）16：00から
場所：信州大学医学部附属病院 外来棟4階大会議室
対象：教育協力病院連絡協議会参加病院



多田医学教育研修センター長の挨拶により開会。

森医学教育部門長より、資料に基づき以下の説明とお願いが行われた。

2019年度150通り学生配属について・・・資料No.1

- ・ 研究コース選択者のコースは未定であり、コース表には数名が記載されていないことと8月の進級判定を控えているため、暫定版となる。

学生の自己紹介と抗体価について・・・No.2

- ・ 来年度の選択臨床実習生にも利用して頂くようお願いがあった。

クリニカルクラークシップⅡにおける担当症例数について・・・資料No.3

- ・ 数については50名程度が妥当だと考えるが、平均で40超となっている。50名に近づけるためには、学内での外来担当者数を増やすなど、学内プログラムの努力が必要と考えている。

令和元年度選択臨床実習の感想・・・資料No.4

- ・ 9月から6月までアンケートをとるが、月を経るごとに提出数が減る傾向にある。提出数を増やす方策を考えたい。

臨床実習後OSCEについて・・・資料No.5

- ・ 2020年度から共用試験化されることとなり、臨床実習を終了した医学生が研修医になることの是非を見極める試験になる。指導医クラスの先生に、来年度も評価者ご協力をお願いしたい。

参加した全病院からヒアリングを行った。挙げられた意見要望は下記の通り。

- ・ 大学では見ることのできない、地域医療やリハビリ、高齢者医療、在宅医療を提供していきたい。
- ・ 学生のアンケートを見ると満足していると思われる。今後も満足してもらえるよう努力していきたい。
- ・ 県外病院だからこそできる貢献をしていきたい。
- ・ 意欲のある優秀な学生が多いと感じている。
- ・ 学生指導に力を注いでいるが、9月からの配属をみると昨年より減少していて残念だ。
- ・ 宿舎やWi-Fi環境を整えた。この点もアピールし、是非、多くの学生に来ていただきたい。
- ・ 毎年実習生が来ることにより、医師・研修医が刺激を受けている。
- ・ 夜間や救急の参加に関しては、実習開始時に学生に要望の有無を訊いている。
- ・ 以前は実習生の質にばらつきがあったが、ここ数年は、学生の質が安定しているように感じる。医学教育の成果かと思う。

- ・ 学生への指導がマンネリ化しているのではないかと感じている。新しい指導方法を考えたいと思っている。
- ・ 指導医同席で学生に外来を担当させたところ、患者さんからクレームがあった。患者さんに誤解を与えないような体制をとり、外来診療を行うようにしたい。
- ・ 現在はあまり学生に外来診療を担当させていないので、今後は検討したいと思う。
- ・ 学生に外来を担当させたいが、開業医からの紹介患者が多く、学生の外来担当は難しい面があると感じている。
- ・ 4月からの実習開始は、年度初めの多忙もあり、充実した指導が難しい。実習開始月を遅らせることを検討願いたい。
- ・ 参加型実習と他職種連携を中心に置き、学生実習を行っているが、アンケートから満足していることが感じられる。
- ・ 1人での実習は孤立やストレスを感じる学生もいるように感じる。2名以上の配属だと解消されるのでは、と感じる。
- ・ 学生の感想は良いことしか書いていない。病院としては「このような勉強ができた」「こうゆう勉強がしたかった」を知りたい。
- ・ 身体所見の取り方をよく勉強していると感じる。
- ・ 研修医と実習生の部屋の仕切りを取り払い、学生と研修医の交流が深まるよう図っている。
- ・ 150通り実習から選択臨床実習でも当院を選んだ学生がいて関係者もうれしかった。
- ・ 外来診療を任せても、積極的でない学生もいる。学生にも積極的に臨んでもらいたい。
- ・ 学生実習に力を注いでいるが、学生からの感想が少ないのはネガティブ評価ととらえる。指導内容のマンネリ化があるとも感じている。学生から教え方の評価を受け、指導に活かしていきたい。
- ・ 他病院の取り組みや方法を自病院に活かしていきたい。
- ・ 全体的に学生の質が底上げされていると感じるが、教えないと動けない学生も見受けられ、丁寧な指導と表裏一体なのかもしれないと感じ、どうしていくか課題として感じている。
- ・ 内科医が集まるカンファレンスで学生のプレゼンをしてもらっている。立派な発表をする学生もいて、研修医が刺激を受けている。
- ・ 選ばれる病院となるよう切磋琢磨していきたい。
- ・ 学生用の問診シミュレーターもあり、これに対する学生の評価もよくうれしく感じる。
- ・ 無理のない範囲で外来担当を増やしていきたい。
- ・ 訪問診療を主に行っていたが、外来診療も進めていきたい。

外部委員として、SP研究会代表の白澤様より、「先日、臨床実習後 OSCE が行われ、1名当たり 15名ほどの SP 役を務めた。本日会議に参加し、全体的に医師を育てていると感じた。」と感想が述べられた。

以上